

公文書の公開と個人情報の運用状況

平成 22 年度の市の公文書の公開および個人情報の運用状況をお知らせします。

総務課行政係 ☎0824-73-1123

市は市政に関する情報を公開し、開かれた市政を推進することに努めています。

その一方で個人情報の保護が重要であることを認識し、市が保有する個人情報について、個人情報保護条例を制定しています。

①公文書の開示請求などの状況

(H23.3.31 現在)

| 請求を受けた実施機関 | 請求件数 | 公開・非公開などの内訳 | | |
|------------|------|-------------|------|-----|
| | | 公開 | 部分公開 | 非公開 |
| 市長 | 26 | 8 | 14 | 4 |
| 教育委員会 | 6 | 5 | 1 | 0 |
| 選挙管理委員会 | 0 | — | — | — |
| 監査委員 | 0 | — | — | — |
| 公平委員会 | 0 | — | — | — |
| 農業委員会 | 0 | — | — | — |
| 水道事業管理者 | 0 | — | — | — |
| 病院管理者 | 0 | — | — | — |
| 議会 | 0 | — | — | — |
| 合計 | 32 | 13 | 15 | 4 |

※情報公開に関する相談や公文書の閲覧などに応じるため、市役所 3 階に閲覧室を設けています。閲覧を希望される方は総務課行政係までお問い合わせください。

②個人情報ファイルの届出件数および自己情報開示等請求件数

(H23.3.31 現在)

| 実施機関区分 | ファイルの届出件数 | 開示請求件数 | 公開・非公開決定などの内訳 | |
|---------|-----------|--------|---------------|-----|
| | | | 公開 | 非公開 |
| 市長 | 271 | 1 | 1 | 0 |
| 教育委員会 | 60 | — | — | — |
| 選挙管理委員会 | 2 | — | — | — |
| 監査委員 | 1 | — | — | — |
| 公平委員会 | 1 | — | — | — |
| 農業委員会 | 5 | — | — | — |
| 水道事業管理者 | 6 | — | — | — |
| 病院管理者 | 4 | — | — | — |
| 議会 | 2 | — | — | — |
| 合計 | 352 | 1 | 1 | 0 |

※個人情報ファイルの届出件数とは、各課で個人情報を扱っている文書の届出件数のことです。

平成 23 年度の新規助成対象研究課題が決定

庄原市県立広島大学研究開発助成事業

企画課政策推進係 ☎0824-73-1112

【地域活性化に向け新たに3件を採択】

市は平成 17 年度から、県立広島大学の研究者が所有する知的資源と地域資源を活用し、研究成果を商品化・事業化に結び付け、地域活性化を図る研究に対して助成する「県立広島大学研究開発助成事業」を実施しています。

本年度は、3 件の新規助成対象研究課題を採択しました。

今後も研究者やしょうばら産学官連携推進機構と連携しながら、研究成果を地域活性化や新産業創出につなげていく取り組みを進めます。

【平成23年度助成対策研究課題】

| 研究課題の内容 | 研究者 |
|---|------------------------------|
| 庄原市の未利用食資源の商品化 有色米の糖化液（紫色）製造技術やジャンボタニシからの抗酸化物質（赤色素）抽出法を利用し、それらの資源を最大限に有効に利活用する加工技術と新しい食品を開発し販売を行う。 | 生命環境学部 生命科学科 吉野 智之 准教授 |
| 地域資源を活用した乳製品生産に向けた研究・開発 乳製品生産、特にチーズや飲料の生産工程で鍵となる微生物（ラクトコッカス属）を備北地域から分離・保存し、昨年度の本事業で蓄積した「備北微生物バンク」の拡充とその特性解析を行う。併せて、新規シーズ（技術など）を開発するとともに解析中の微生物を使用した製品の実用化を図る。 | 生命環境学部 環境科学科 有馬 寿英 助教 |
| マツタケ山再生のためのマツタケ植栽の試み 本事業を活用した研究により、マツタケ菌糸の土壌培養、ガラス瓶中でのシロ形成を確認しており、この技術を用いてさらに大きな規模でマツタケのシロを育成し、実際に植栽していくことで、マツタケ山の再生を図る。 | 生命環境学部 生命科学科 相沢 慎一 教授 |